



▲耐震化の重要性を教訓した一昨年の新潟県中越地震

「耐震化」を重点とした 実効性ある取り組みを

手塚 静枝 議員

が、利用されていない状況にある。「耐震化」を重点に置き、実効性のある取り組みが必要である。①自分で「わが家の耐震診断」ができる診断法を作成してはどうか。②市民が安心して相談できる、総合窓口体制の設置はできないか。③耐震化のスピードアップが必要である。その方策をどう考えているのか。

議員 地震による被害を減らすには、「耐震化」を進めることが最も重要である。今後、M7クラス以上の地震が予測されることから、建築物の耐震化は急務である。しかし、耐震化が進んでいない現状である。本市も耐震診断・改修の助成制度を実施している

町会を通し配布することを検討していきたい。②耐震診断・改修は人の生命、財産を守るためのものであり、市民の皆さんが安心して相談できるように対応しているところである。総合窓口体制の充実も、今後、十分に検討していく。③広報紙・市ホームページ等でより一層PRを行い、まずは耐震診断を受けることへの対応と、比較的軽易な工法事例の紹介も必要と考える。

「父子手帳」作成と活用を

議員 父親の子育て参加は大変重要である。父親の育児参加を促し、応援する「父子手帳」を作成し、活用してはどうか。

福祉部長 今後発行を予定している子育て情報誌の中で、父親の育児参加について取り上げることが検討する。

医療保健センター事務長 母子健康手帳を、両親で子どもを育てるような内容にするよう検討している。

地域に密着した 介護サービスの整備を

花井 伸子 議員

議員 改定された介護保険制度は、要介護者の「生活圏域」ごとにサービス拠点を整備することを目指している。本市は、整備計画策定に当たって、住民参加を保障し、介護保険のサービスに限らず、多様な形で基盤整備をしていくことが求

められていると考えるが、整備計画の策定はどのように行うのか。

福祉部長 既存のサービスの利用状況を勘案しながら戸田市総合介護福祉市民協議会において行う。

議員 サービスの種類と整備量をどう考えるか。

福祉部長 現行サービスの利用状況、保険料への影響を考慮しながら、来年度以降、適切な配置ができるよう審議中である。



▲健康麻雀講座等で楽しむ武蔵野市のテンミリオンハウス

議員 サービスの種類と整備量をどう考えるか。

議員 在宅要介護高齢者介護支援金・在宅高齢者紙おむつ支給事業は、現在、介護度3以上で65歳以上となっているが、年齢要件を見直し、同じ要介護認定を受けた者には支給できるようにしては。

介護支援金・紙おむつ支給事業の充実を

福祉部長 新たな仕組みを検討する。

一般質問

違法駐車対策の成果は

菅原 文仁 議員

議員 本市の特徴として、市街地と工業地帯が隣接しており、子どもたちは常に危険と隣り合わせで学校に通っている。そうした状況下、学校付近で大型車両の違法駐車等も問題になっている。そこで、現在の違法駐車対策ではどのような成果が上がっているか伺いたい。

駐輪場不足している集合住宅周辺違法駐輪は

けて、来年から警察の行っていた違法駐車確認業務が民間に委託される。これを踏まえて、効果・効率の高い対策を行ってほしいと要望する。

議員 市内のオート、マンションには十分に駐輪場が確保できていない、周辺の公道にはみ出して駐輪している場所がしばしば見られる。駅前前の放置駐輪対策だけではなく、住宅地における対策について、どのような認識を持っているか。



▲はみ出した駐輪は歩行者に迷惑をかけています

市民生活部長 平成17年度4月より10月までで、啓発台数4733台、その内、移動2959台で、62.5%となっている。また、常習違反車両については警察署へ取り締まり依頼を実施している。子どもの安全が一番大切なので、苦情が入れば優先して指導している。

議員 市内のオート、マンションには十分に駐輪場が確保できていない、周辺の公道にはみ出して駐輪している場所がしばしば見られる。駅前前の放置駐輪対策だけではなく、住宅地における対策について、どのような認識を持っているか。

市民生活部長 集合住宅の駐輪場の設置は、小規模の集合住宅については、規制や設置協力依頼等は非常に難しい問題がある。自転車利用者のモラルの向上等の啓発を進めることと、道路や緑地等を管理する関係課と、今後とも協議しながら対応していく。

議員 困っている住民もたくさんいるので、最適な方法を模索して、良好な生活環境の保持に努めることを要望する。

地権者の一層の理解と協力 市民の衆知を得て 土地区画整理事業の推進を

細井 幸雄 議員



▲工事は暫時停止。この先に戸田駅が見える

議員 土地区画整理事業は、安心・安全を含めた地域環境の抜本的な改善を図ることが本旨であるとして理解しているが、第一地区における昨年9月の集中豪雨による水害は区画整理事業のせいでという苦情が寄せられたと聞いた。本事業が水害対策にマ

議員 戸田駅東口駅前も商業系の用途地域が計画されているが、近接した市内3駅前それぞれが高度利用を図り、商業地とする計画は新たなシャッター通りの創出にならないか心配だ。駅前をどうするかは、広く市民等から衆知を集めることが肝心だと思ふ。新曽第二土地区画整理事業の現時点での状況はどうか。

議員 土地区画整理事業は、安心・安全を含めた地域環境の抜本的な改善を図ることが本旨であるとして理解しているが、第一地区における昨年9月の集中豪雨による水害は区画整理事業のせいでという苦情が寄せられたと聞いた。本事業が水害対策にマ

議員 困っている住民もたくさんいるので、最適な方法を模索して、良好な生活環境の保持に努めることを要望する。

※：テンミリオンハウス=武蔵野市が年間1000万円（テンミリオン）を上限に、運営費補助などの活動支援を行い運営されている小規模ハウス